

2020年より補助金申請の手続きに電子申請システムが導入されます

IT専門サポーター 鵜野 昭二

(ITコーディネータ、有限会社フレバー情報システム 代表取締役)

国会で1月30日に令和元年度補正予算が成立し「ものづくり補助金」、「IT導入補助金」、「小規模事業者持続化補助金」は2020年も実施されることになりました。

そして今回、補助金の申請に電子申請システムが導入されます。システムの名称を「jGrants(Jグランツ)」(Japan Grants: Grantsは助成金)といい上記の3つの補助金の申請に導入される他に全部で27の補助金の申請にシステムが導入されます。対象の補助金は随時拡大予定のようです。

【電子申請導入の目的は】

これまでの多くの補助金申請は、紙での手続きが主流であり、大量の紙での申請や郵送等の手続きが煩雑であり、補助金を利用したい事業者が簡単に申請できる環境ではありませんでした。また行政、執行団体側も紙のやりとり、複雑な審査で人手がかかる、本人確認に時間がかかるといった課題がありました。これらの課題を解決するために導入されたシステムです。

【電子申請のメリットは】

- 24時間365日、自宅や職場など、いつでも・どこでも申請が可能。
- 移動時間や交通費、郵送費などのコスト削減が期待できる。
- 過去に申請した情報の入力や、書類の押印が不要になる。
- ウェブフォームでの入力のため入力ミスのチェックが可能。

などがあります。

そしてこのシステムの利用にあたっては「GビズID (gBizID)」という事業所固有のIDが必要になります。

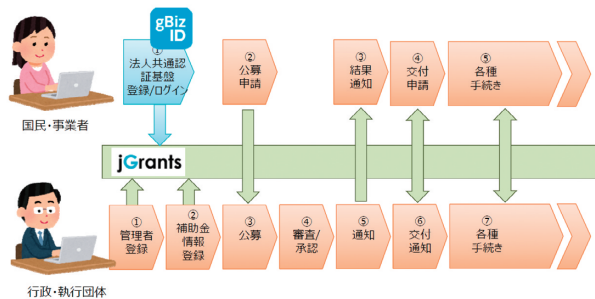
GビズIDは左記の補助金の申請システムだけではなく、社会保険、雇用保険の電子申請など他の行政サービスにも利用できる固有のIDです。

このIDはGビズIDのサイト (<https://gbiz-id.go.jp/top/>) より取得します。IDにはgBizIDプライムとgBizIDエントリーの2種類があり、補助金の申請には**gBizIDプライム**の方の登録が必要です。IDの申請はWEB上で作成する申請書と印鑑証明書を郵送し申請が通れば承認メールが到着します。

なお「GビズID」の取得には申請から2~3週間必要になるので早めの申請をお願いします。補助金の公募以前でもIDの取得は可能です。

お聞きになりたいこと等あればIT相談窓口を気軽にご利用ください。

jGrantsの全体構造



IT相談窓口

IT専門サポーターがITに関するギモンや課題にマンツーマンでアドバイスします。

毎週木曜日 9:00~17:00

3月は、5日(木)、12日(木)、19日(木)、26日(木)開設予定です。

※都合により、日程を急遽変更する場合がございます。

予約制・無料



お気軽にお問合わせください。

姫路ものづくり支援センター (姫路商工会議所・姫路市)

TEL 079-221-8989

FAX 079-222-6005

メール kougyou@himeji-cci.or.jp